



種子島中央高校図書館

一年の始まりに“新しい自分”と出会う一冊を

いよいよ 2026 年がスタートしました。「一年の計は元旦にあり」と言いますが、皆さんは今年どんな自分になりたいですか？新しい目標を立てた人も、まだお探し中の人も、図書館へどうぞお越しください。本との出会いは新しい価値観との出会いでもあります。今年の目標のヒントとなる言葉が本棚のどこかであなたを待っているかも知れませんよ。

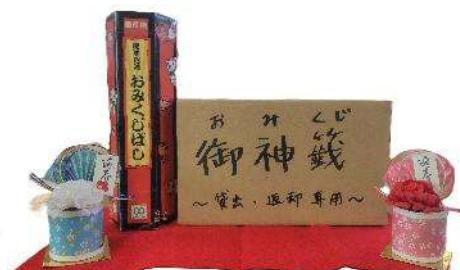


新春・運試し企画開催中

本を返却した人、または借りた人限定のおみくじ（お一人様 1 回限り）を用意しました。

年の初めに運試しにチャレンジしてみませんか？

また、気軽にチャレンジできる簡易おみくじもあるので、ぜひ図書館に遊びに来てくださいね。



返し忘れはありませんか？

返却日が過ぎた本が手元にある人はいませんか？また、冬の特別貸出図書の返却期限は 1 月 9 日（金）となっていましたので、まだの人は返却をお願いします。図書館での返却のほか、購買部横にある返却ボックスも利用できますので活用してください。



3 年生の貸出は 1 月 23 日（金）までとなります。原則として 1 月 30 日（金）までに必ず返却をしてください。

受験の 2 次対策や課題レポートなどで貸出を希望する 3 年生は、司書までご相談ください。

借りたいです！



短いのに、おもしろい

短編・ショートショートのすすめ

3学期は勉強や部活で忙しくて、なかなかまとまった読書時間がとれない学期でもあります。そんなときこそ「短いのにおもしろい」短編やショートショートで、気軽に読書を楽しんでみませんか。ページ数が少くとも、短いからこそ光るストーリーがたくさんあります。「読書はしたいけど、長いのはちょっと…」というあなたにもぴったり。朝読の10分間はもちろんのこと、授業前の3分間、就寝前の5分間などちょっとしたスキマ時間を豊かな読書の時間に変えてみませんか。

「ボッコちゃん」 星 新一

「3分で世界がひっくり返る！」ショートショートの神様が贈る、究極の短編集。毒気とユーモア、そして予言的なラスト。わずか数ページで鮮やかに世界が反転する驚きは、一度味わうと癖になります。短編小説の入門にして、最高傑作です。

「満願」 米澤 穂信

なぜ一線を越えてしまったのか？人の心の奥底に潜む闇を巧みなプロット（筋書き）で描き出すミステリー短編集。全ての話が、最後の一文でぞつとするような結末を迎えます。読後のイヤ～な余韻は一级品です。

「阪急電車」 有川 浩

口一カル線「阪急今津線」に乗り合わせた人々の人生が、ほんの少しだけ交差し、やがて小さな奇跡を起こしていく恋と再生の物語。登場人物たちの小さな勇気が連鎖していく様子に、心が温かくなります。

「お探し物は図書室まで」

青山 美智子

仕事、将来、自分自身の価値。行き詰まりを感じている5人の登場人物が小さな図書室で手渡されたのは、驚くような1冊と奇妙な羊毛フェルト。「探し物」をしている人たちの背中をそっと押してくれる短編集です。

「むかしむかしあるところに、死体がありました。」 青柳 碧人

誰もが知る「日本昔話」を舞台に殺人事件が起きた！密室やアリバイ、ダイニングメッセージなどの“ミステリーあるある”的トリックを用いた「新感覚☆おとぎ話ミステリー」を楽しもう！

「ちょっとだけ読んでみたい…。」
そんな気持ちで大丈夫。気軽に選んで、目次で「いいな」と思った1話だけ読んでみよう。読書のハードルがぐっと下がるはずです。

